



身障秋田

発行人／社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会会長細矢治助
事務局／〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
Tel／(018) 864-2780 Fax／(018) 864-2781
平成14年3月29日発行

平成14年度 事業計画が決まる

3月に開催いたしました理事会並びに評議員会において平成14年度の事業計画及び予算が承認されました。主な項目をお知らせいたします。

1 協会活動の推進のための事業

① 身障福祉推進事業
各種関係団体が開催する大会・会議等へ参加し、身体障害者福祉の向上を図る。

・日本身体障害者福祉大会への参加
・東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会への参加
・各種団体の大会、会議等への参加

2 青年部活動への助成

青年部組織の全体的な整備と活動の強化を図るために助成を行う。

2 福祉啓発・普及を図るための事業

1 会報「身障秋田」の発行

全会員を対象に、事業計画等の紹介を中心とした情報の提供を行う。

(年4回)

2 第21回秋田県身体障害者福祉大会の開催

障害者の福祉向上をめざす諸課題について、県民各層の理解を得るとともに障害者自身の自立意識高揚と会員の団結を図り、併せて功績者並びに自立更生者等の表彰を行う。

(7月17日、秋田県民会館)

3 第53回東北ろうあ者大会・第29回東北地区手話問題研究大会の開催

(10月12日～14日、秋田市)

3 地域福祉を推進するための事業

① 在宅重度障害者通所援護事業費の交付
・ 出発の家(鹿角市)
・ 希望の家(秋田市)

② 市町村身体障害者協会長等ブロック研修会の開催(6月中旬、3地区)

4 身体障害者スポーツの振興を図るための事業

① 盲社会人野球東北・北海道地区大会への派遣(6月9日、上山市)

② 聴覚障害者バレーボール東北・北海道地区大会への派遣
(5月18日、小樽市)

③ 車いすバスケットボール東北・北海道ブロック大会への派遣
(6月中旬、郡山市)

④ 第3回東北車椅子ゲートボール連盟会長杯争奪ゲートボール大会の開催
(9月28日・29日、雄和町)

⑤ 平成14年度秋田県身体障害者ゲートボール大会の開催(10月上旬、雄和町)

5 障害者社会参加推進センターの設置・運営
障害の有無にかかわらず、誰もが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりに向けて、障害者自らによる諸種の社会参加促進施策を実施し、地域における自立生活と社会参加を推進する。

・ 推進協議会の開催(年2回)
・ 部会の開催(3部会・各1回)事業

・ 指導者研修会の開催(年1回)
・ 情報紙「社会参加推進センター」の発行(年2回)

6 委託事業の実施

① 「障害者110番」事業
障害者の権利擁護に係る相談等に対応するため、常設相談窓口を設置し、内容に応じて専門相談を行うほか、必要に応じて専門機関に依頼し、障害者が抱える問題を解決し障害者の福祉の増進を図る。

・ 常設相談窓口の設置
・ 訪問相談
・ 委員会の設置

② ろうあ者日曜教室開催事業
コミュニケーションの手段に著しい障害を有するろうあ者に対して、生活上必要な知識の修や、意見、情報等の交換の場を設ける。

・ 県北、中央、県南において各3回開催

③ 車いす生活者社会生活行動訓練事業
車いす生活者で外出することが困難な者並びに外出する機会が得られない者に対して、その場を併せて車いす操作等の訓練・指導を行う。

・ 県北、中央、県南で各1回開催

④ オストメイト社会適応訓練事業
ストマ用器具の装着者に対して、器具の使用等について正しい知識を付与し、また社会生活に必要な基本的事項について相談に応ずる。

・ 県内7か所で開催

⑤ 音声機能障害者発声訓練並びに発声訓練指導者養成事業
喉頭を摘出し、音声機能を喪失した者に対して発声訓練を行うとともに、この発声訓練に携わる指導者を養成する。

・ 県内4か所で実施、週1回
・ 指導者講習会への派遣4名

⑥ 第40回秋田県身体障害者体育大会
身体障害者がスポーツを通じて、機能回復と体力の維持増強を図り、自らの障害を克服して明るく希望と勇気をもってたくましく生きていく能力を育てるとともに、県民の身体障害者に対する正しい認識を高める。

・ 8月25日
・ 秋田市営八橋陸上競技場ほか

⑧ 各障害者団体啓発・普及事業
障害者が自ら自主的に社会参加事業

を開催し、主体的に社会活動を展開することにより、地域福祉の担い手としての意識高揚を図り、併せて障害者に対する県民の理解と、障害者の社会参加を促進することを目的とする。

- ・4 団体
- ・8 事業

⑨ 要約筆記奉仕員養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者にし手話取得の困難な中途失聰者、難聴者のコミュニケーション手段として要約筆記の指導を行うことにより要約筆記奉仕員を養成する。

- ・講習会の開催
- ・基礎課程 2 か所
- ・応用課程 1 ヶ所

⑩ 指導者研修会へ派遣

手話通訳者派遣事業
手話を用いて、コミュニケーションの円滑化を支援するため、聴覚障害者等の申し出により登録された手話通訳者を派遣する。

- ・登録者13名
- ・通訳者研修会の開催
- ・運営委員会の開催

⑪ 字幕入りビデオカセットライブラリー貸出事業

テレビ番組、映画等に字幕、手話を挿入したビデオカセットライブラリーの貸出を行うことにより、聴力障害者の知識、教養の向上を図る。

⑫ ビデオライブラリーを県心身障害者総合福祉センター図書室に設置

盲人及び脳性麻痺者等が都道府県間を移動する際に、ガイドヘルパーを必要により広域的に利用できるような全国的なネットワークを確保する。

⑬ 秋田県ガイドセンターを県協会に設置

心身障害者総合福祉センター内の各

施設設備の活用のための指導及びサービス提供のほか、図書室における出版物等の収集、整理、貸出等を行い各種情報を提供する。

- ・図書ボランティアの協力により毎月金曜日開館
- ・研修会の開催
- ・障害情報ネットワークへの参加

⑭ 身体障害者の福祉を高めるつどい開催事業

社会更生への意欲を高めるために、各地域において福祉大会・研修会等を開催するとともに地域住民の参加のもとに障害者への認識を深める。

- ・郡市単位に福祉大会、体育大会等を開催

⑮ 身体障害者海の家・山の家開設事業

身体障害者の保養のために、海の家・山の家を開設する。

⑯ 身体障害者青年交流の輪を広げるつどい

結婚適齢期にある身体障害者の交流の場を作り結婚・職業・生活等の相談活動を行う。

⑰ ガイドヘルパー養成研修事業

重度視覚障害者の外出時の移動の介助等に必要知識、技能を有するガイドヘルパーを養成する。

⑱ バリアフリー情報収集事業

県内における公共施設、生活施設（バリアフリー施設）、トイレなどを調査し、バリアフリー情報を収集することにより、地域における障害者の社会参加を推進する。

7 関連事業

① 身障のつばさの企画、実施。

(第47回全国大会参加、徳島県)

② 身体障害者ジパング倶楽部の入会に關する事務。

③ 日身連収益事業部の行う事業への協力。

④ 秋田県障害者スポーツ協会への協力

平成14年度総括収支予算書

| (収入の部) | (単位：千円) | | | | |
|--------|---------|----------|------------|---------|--------|
| | 本部会計 | 公益事業特別会計 | 推進センター特別会計 | 施設会計 | 授産特別会計 |
| 負担金 | 3,751 | | | | |
| 措置費 | | | | 161,479 | |
| 補助金 | 1,397 | 4,337 | 6,158 | | |
| 寄付金 | 2,066 | | | 1 | |
| 繰入金収入 | 1,783 | 2,047 | | | |
| 委託費 | | 37,819 | 1,587 | | |
| 事業収入 | | | | | 87,432 |
| 雑収入 | 4,695 | 97 | 1 | 1,910 | |
| 前期繰越金 | 2,016 | | | | 1,130 |
| 合計 | 15,708 | 44,300 | 7,746 | 163,399 | 88,562 |

| (支出の部) | (単位：千円) | | | | |
|--------|---------|----------|------------|---------|--------|
| | 本部会計 | 公益事業特別会計 | 推進センター特別会計 | 施設会計 | 授産特別会計 |
| 事務費 | 5,253 | | 5,576 | 127,717 | |
| 事業費 | | 6,441 | 1,751 | 29,050 | 77,367 |
| 委託事業費 | | 36,447 | | | |
| 元利償還金 | 4,443 | | | | |
| 繰入金支出 | 2,356 | 1,412 | 419 | 3,733 | |
| 雑支出 | 1,790 | | | | |
| 運営積立金 | | | | | 1,500 |
| 引当金繰入 | | | | | 3,000 |
| 租税公課 | | | | | 1,280 |
| 予備費 | 1,866 | | | 2,899 | 5,415 |
| 合計 | 15,708 | 44,300 | 7,746 | 163,399 | 88,562 |

8 重度身体障害者授産施設秋田ワンクセンターの事業
重度身体障害者で雇用が困難なものを入所(通所)させて、職業等の必要な訓練を行い、自立と社会復帰を図る。
授産科目 軽作業課、縫製課、印刷課

今年度第4号の「身障秋田」をお届けします。
今後の紙面作成の参考にしたいと思いますので、ご意見、ご感想をお寄せください。
(事務局)